

災害時の歯科と他職種との連携をふりかえる ～東日本大震災での救護班、熊本地震でのJMAT、 能登半島地震でのJDATの経験から～



門井 謙典
kanenori@kadoi.net
愛知県歯科医師会
兵庫医科大学歯科口腔外科学講座

1

本日の内容

- 災害時の歯科の役割
- 東日本大震災
- 熊本地震
- 能登半島地震
- 歯科と栄養
- 災害に備える

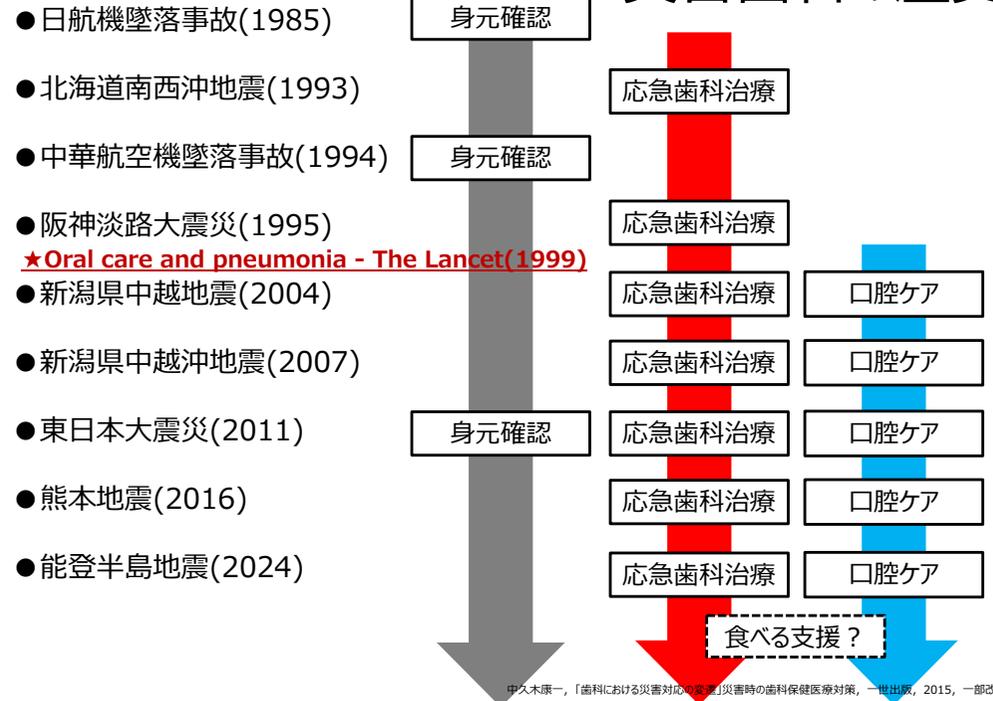
今回は、「他職種との連携」を切り口に、過去の支援を振り返りたいと思います。



3

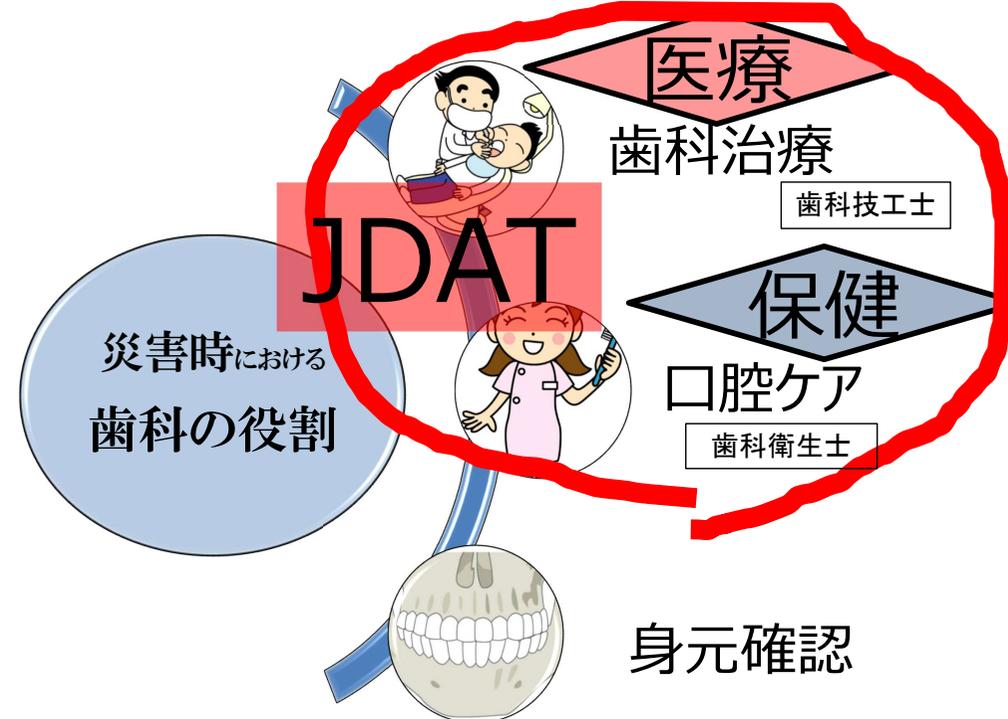
- 発表内容は個人の見解であり、所属組織の見解を示すものではありません。
- 利益相反COIは、ありません。

災害歯科の歴史



災害歯科の変遷

日航機墜落事故：1985	＜身元確認＞ 大国勉 (群馬県警察医会)	第0世代
北海道南西沖地震：1993	＜歯科医療＞ 平井敏博 (北海道医療大学)	第1世代 歯科支援はじまる
阪神淡路大震災：1995	＜歯科保健＞ 足立了平 (神戸常盤大学)	第2世代 啓発・活発化
中越地震：2004 中越沖地震：2007	田中彰 (日本歯科大学)	第2.5世代 集約・体系化
2007～2009：厚労科研「大規模災害時における歯科保健医療の健康危機管理体制の構築に関する研究」	中久木康一 (東京医科歯科大学)	
東日本大震災：2011		第3世代 標準システム 確立へ
2012：日歯・災害コーディネータ研修会開始		
2012：日衛・災害歯科支援DHフォーラム開始		
熊本地震：2016 JMATに歯科医師参画		
2018：厚労省・災害歯科保健医療チーム養成支援事業開始		
2022：JDAT (日本災害歯科支援チーム) 創設		
能登半島地震：2024	JDAT出動	



宝塚市立病院 第2次 災害医療支援派遣

派遣までの経緯	平成23年3月11日：東日本大震災発生 平成23年3月17日～3月22日：当院から第1次派遣
訪問地	宮城県 本吉郡 南三陸町
派遣期間	平成23年3月26日～4月2日
派遣メンバー	門井謙典 (歯科医師) 川野知子 (歯科衛生士) 辻隆志 (薬剤師) 藤本明貞 (事務)
主な医療支援内容	1. 誤嚥性肺炎予防目的の専門的口腔管理 2. 成人、高齢者に対する口腔ケアの啓蒙活動 3. 小児に対する齲蝕予防啓蒙活動



第3次5/26-5/30 医師1・看護師2・薬剤師1・事務1
(兵庫県からの要請に基づく。兵庫県災害拠点病院第19次)

気仙沼 在宅支援プロジェクト

巡回→J
療養→R
支援隊→S **絆**

エリアを統括する医療班がいて、それぞれのチームが各避難所を担当するのに対して、避難所に入れないような居宅要介護者を一人づつピックアップし、巡回診療を行うプロジェクト。

医師、看護師を中心に、歯科医師、歯科衛生士、栄養士等でチーム構成。

1. 要介護者の状況把握

→巡回健康相談 (被災後の医療ニーズへの対応、かかりつけ医、事業所との連携)

2. 把握された患者の診療、看護、リハビリ

→在宅支援チーム (褥瘡ケア、摂食嚥下リハ、退院支援のシステムづくり)

3. 医療、看護、介護体制の強化

4. 避難所の統廃合と集約化

兵庫医科大学病院 災害医療支援派遣

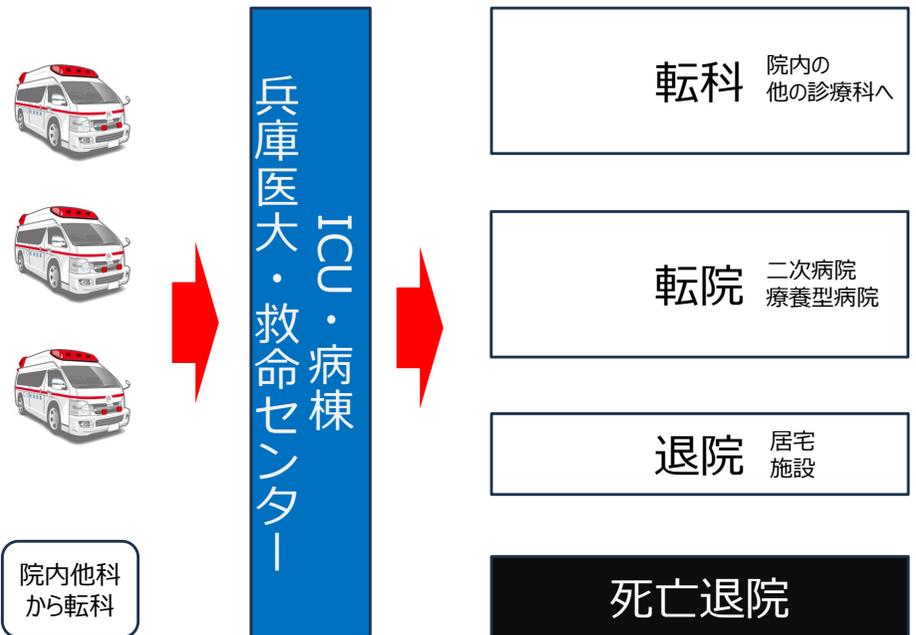
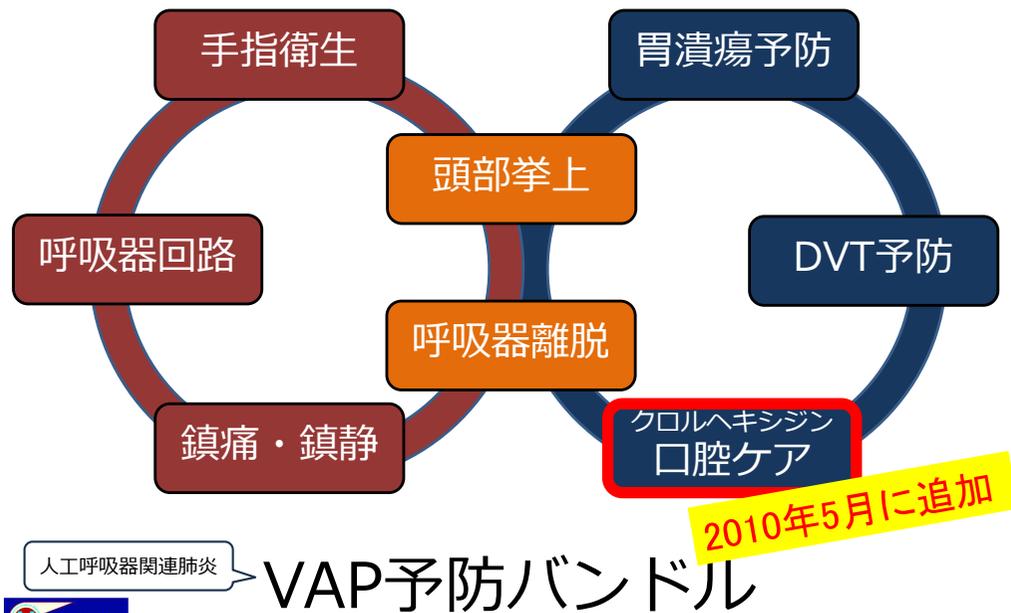
	派遣期間	派遣先	派遣メンバー	備考
DMAT	3月12日～3月14日	花巻空港SCU	医師2名、看護師1名、臨床工学技士1名、放射線技師1名の計5名	大学独自で派遣。自衛隊機で移動。
A	3月16日～3月20日	福島県・宮城県	医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計6名	大学独自で派遣。途中から兵庫県要請に切り替え。
B	3月18日～3月21日	宮城県石巻市	医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計6名	兵庫県からの要請。
C	4月4日～4月9日	宮城県石巻市	医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計6名	兵庫県からの要請。
D	5月2日～5月6日	宮城県石巻市	医師2名、歯科医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計7名	兵庫県からの要請。

Bチーム以降は、兵庫県立病院群と兵庫県災害拠点病院群で合同で支援活動を展開。

東日本大震災 兵庫県歯科医師会 医療救護班

G4	5/1-5/8	歯科医師1	歯科衛生士2	気仙沼・南三陸
G5	5/8-5/15	歯科医師1	歯科衛生士2	気仙沼・南三陸
G11	6/19-6/27	歯科医師0	歯科衛生士2	石巻,女川
兵庫県歯G1	7/25-7/30	歯科医師1	歯科衛生士2	石巻
兵庫県歯G2	8/1-8/6	歯科医師1	歯科衛生士2	石巻
兵庫県歯G3	8/9-8/13	歯科医師1	歯科衛生士2	石巻
兵庫県歯G4	8/15-8/20	歯科医師1	歯科衛生士2	石巻
兵庫県歯G5	8/21-8/27	歯科医師1	歯科衛生士2	石巻

日本集中治療医学会 2010 米国IHI 2010

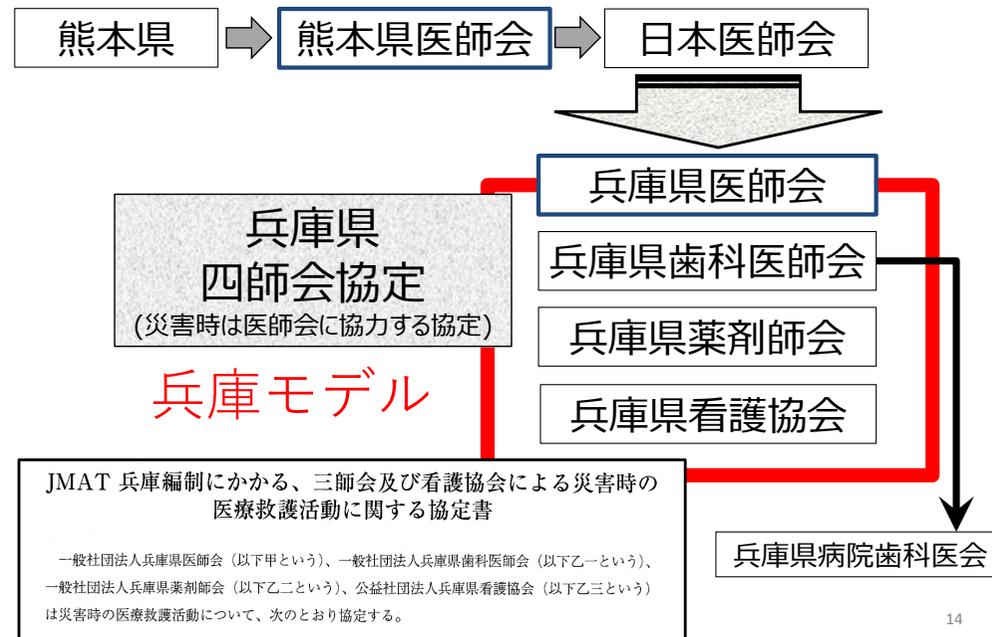


JMAT：日本医師会災害医療チーム

- “Japan Medical **Association** Team”
- 急性期の災害医療を担当するDMATが約3日程度で撤退するのと入れ替わるようにして被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織。

DMAT: Disaster Medical Assistance Team
 DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team
 JRAT: Japan Rehabilitation Assistance team

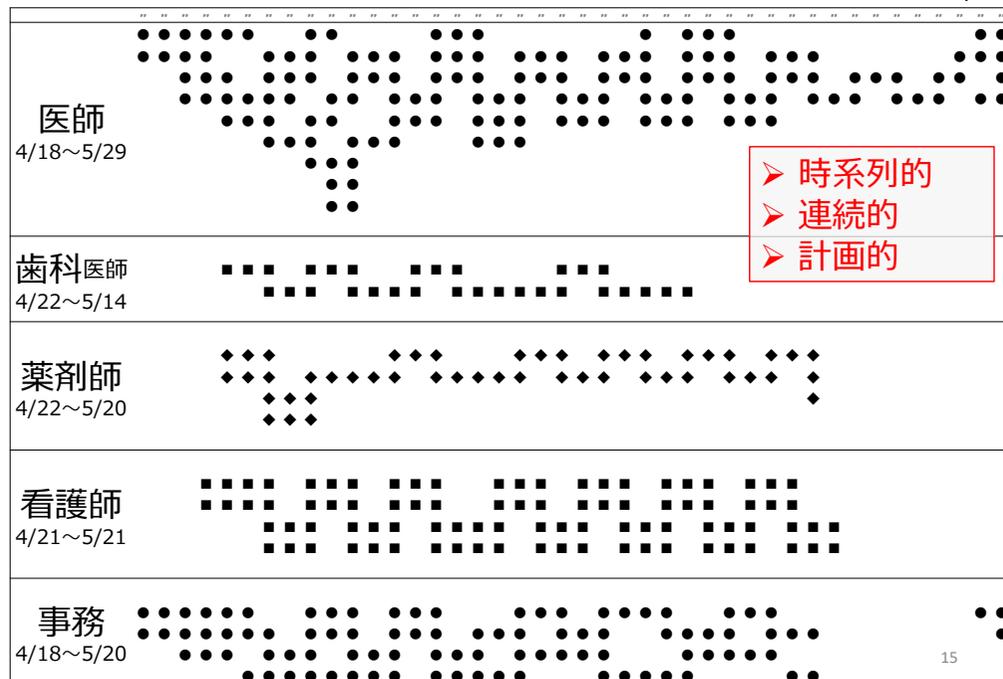
JMAT兵庫-編制



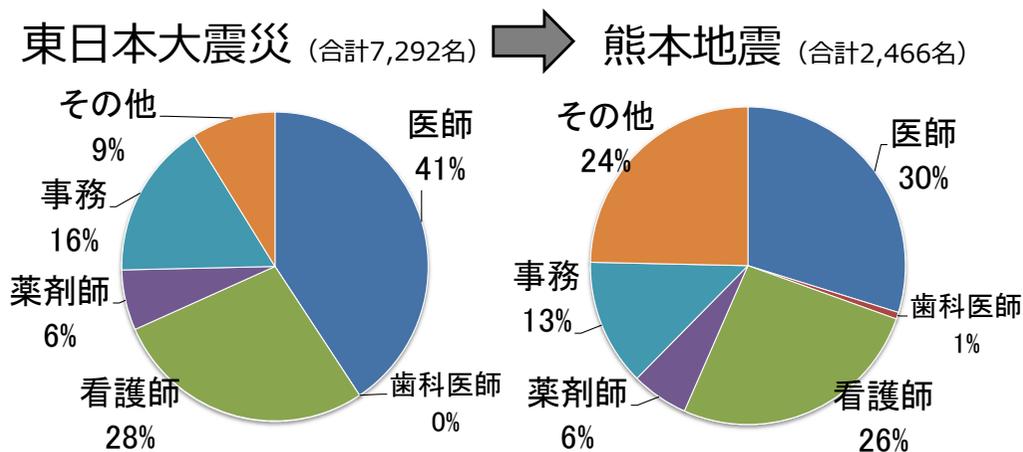
2016熊本地震
 4/18

派遣カレンダー(JMAT兵庫)

5/29



JMAT職種の比較



- ✓ 医師が減少し、その他(コメディカル)が増加
- ✓ “医療”よりも、“保健”に重点化。

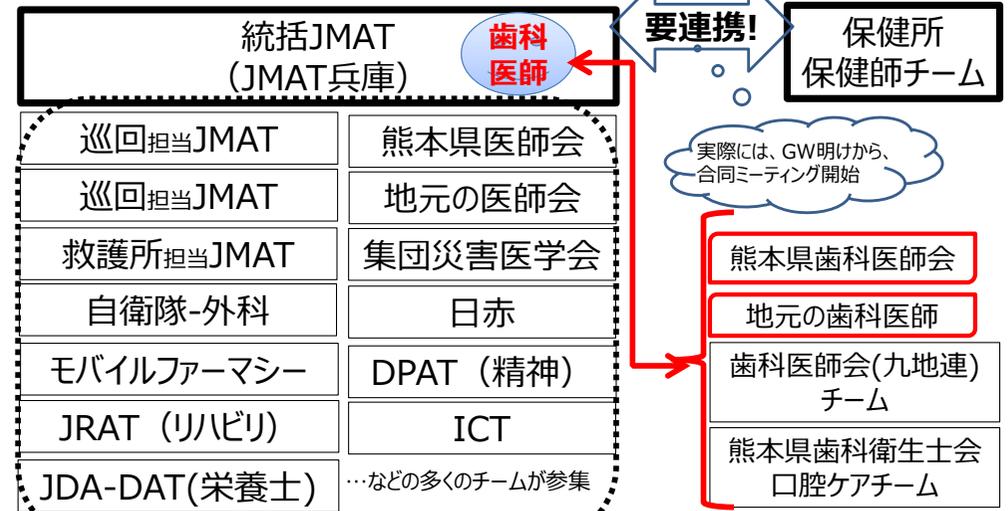
平成28年熊本地震JMAT派遣

熊本市	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、 沖縄県* 、鹿児島県、宮城県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、愛知県
阿蘇市	熊本県、東京都、山梨県、鳥取県、岡山県、広島県、 山口県
南阿蘇村	熊本県、福岡県、東京都、神奈川県、富山県
益城町	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、宮城県、 福島県 、東京都、神奈川県、石川県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、 兵庫県* 、岡山県、香川県
大津町ほか	熊本県、 鹿児島県 、神奈川県、静岡県、鳥取県

のべ46チームのうち **統括JMAT*2チームだけ** のべ46チームのうち **歯科医師参加のチーム4チームだけ**

日本医師会HP「平成28年熊本地震日本医師会災害医療チームJMATの対応」より改変

熊本県 益城町医療本部 (DMAT撤退後)



✓集まった歯科チームと、JMAT本部との橋渡し役

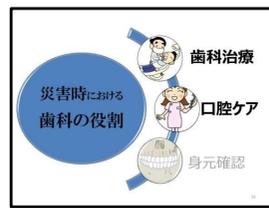
JMAT歯科

- 巡回診療
- 救護所診療



統括JMAT歯科

- 巡回診療
- 救護所診療
- 歯科コーディネート業務**
 - ✓支援チームの調整
 - ✓関係機関との調整
 - ✓地元県歯会や、地元歯科医療機関との調整



実際の活動は3本柱

コーディネートが必要!



救護所(定点)



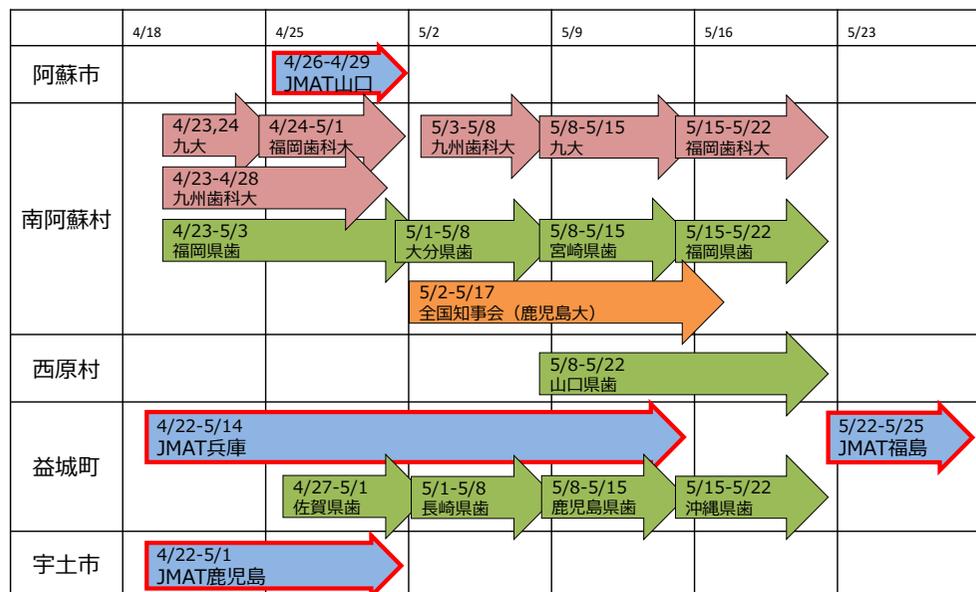
巡回診療



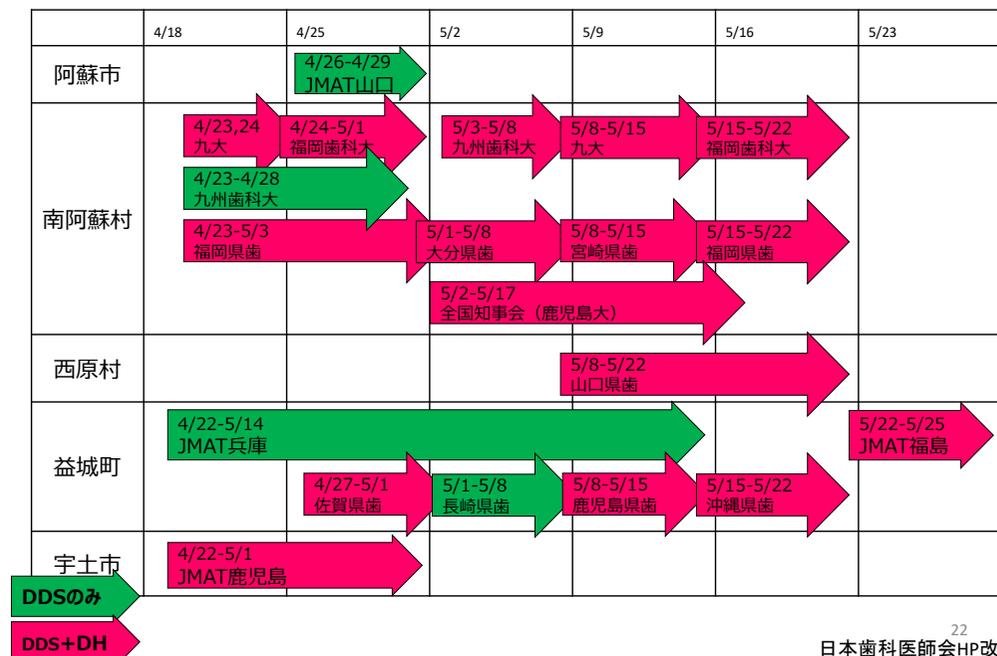
口腔ケアの啓発



熊本地震；外部からの歯科支援チーム



熊本地震；外部からの歯科支援チーム



JMAT兵庫-歯科；1日の動き

- 09:30~09:40 全体mtg (朝)
- 09:40~09:50 歯科mtg (朝)
- 10:00~ デスクワーク、電話対応etc
- 11:30~11:40 クロノ
- 12:00~13:00 歯科救護所で診察
- 16:00~16:10 クロノ
- 16:30~17:00 歯科mtg (午後)
- 17:00~17:30 全体mtg (夕)
- 17:30~18:30 歯科mtg (夕)
- 18:30~ デスクワーク



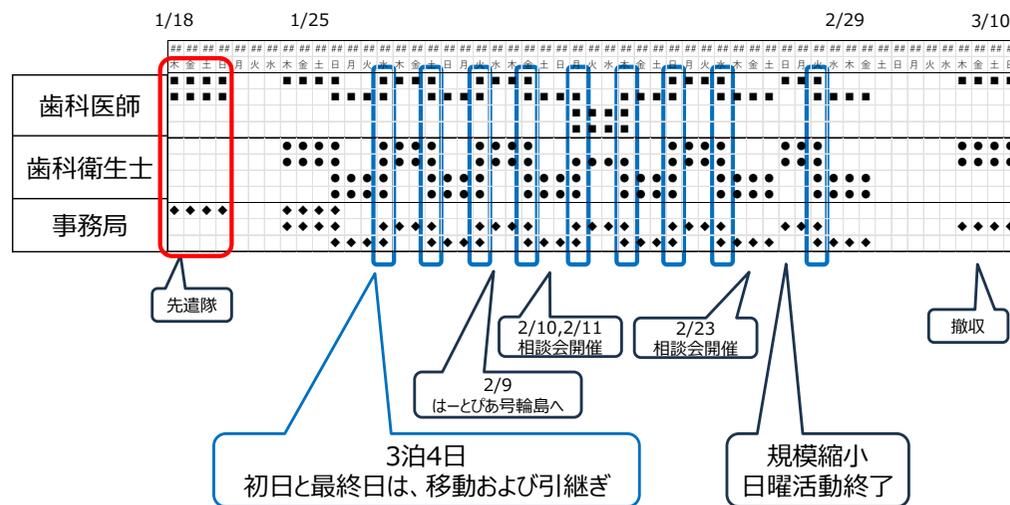
熊本県益城町 保健福祉センター「はびねす」



◆ その他、適宜、来客対応や避難所視察など。

能登半島地震2024 JDAT愛知 派遣カレンダー

- 1/1 発災
- 1/13 要請 (石川県知事→厚労大臣→日本歯科医師会→各都道府県歯科医師会)



1.5次・2次避難

JDAT愛知

2024能登半島地震

悪路・積雪

↑医療支援

DMATが長い

最大級の支援

地元と調整

DDS1+DH2
+ロジ1

縮小を検討

平日のみに

DDS1+DH2
+ロジ1

どんなチームを派遣する？

DDS2+ロジ1

愛知県歯先遣JDAT

DDS1+DH2
+ロジ1

撤収

時間経過→

発災72h JDAT出動まで時間を要した

★支援はシームレスに！

日本医師会「JMATに関する災害医療研修会(平成24年3月10日)」小林國男 先生 資料一部改変

能登半島地震におけるJDAT派遣

栄養士やリハ職、増えるか？

	チーム数	人数	職種内訳				
			歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	その他
計	364	1325	806	459	12	45	3

* 2024/1/7(日)-4/28(日)

* JDAT石川も含む (236チーム)

* 隣県(富山県歯、福井県歯)JDATは、2024/1/18-2024/3/24

* その他のJDATは、2024/1/18~2024/3/10

愛知県歯科医師会は、14チーム派遣
歯科医師17名、歯科衛生士25名、事務職15名

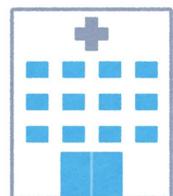
日本歯科医師会HP

JDAT



- ・歯科医師
- ・歯科衛生士
- ・歯科技工士
- ・ロジ

歯科専門



T歯科大学

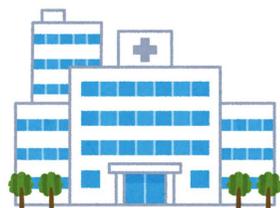
- ・保存科
- ・補綴科
- ・口腔外科
- ・小児歯科
- ・矯正歯科

JMAT



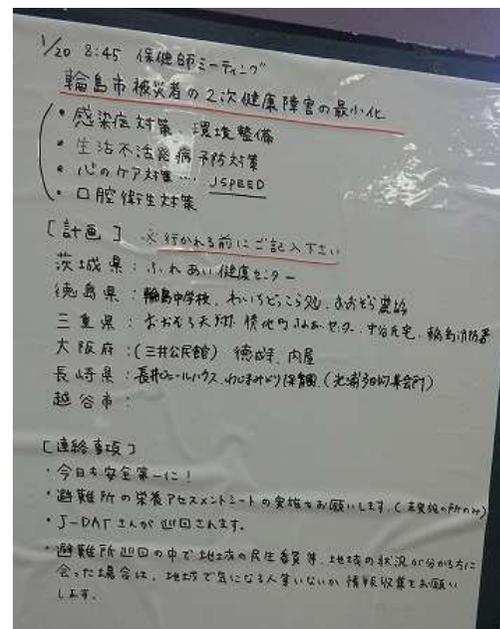
- ・医師
- ・看護師
- ・薬剤師
- ・ロジ
(・歯科医師)
(・歯科衛生士)

多職種連携



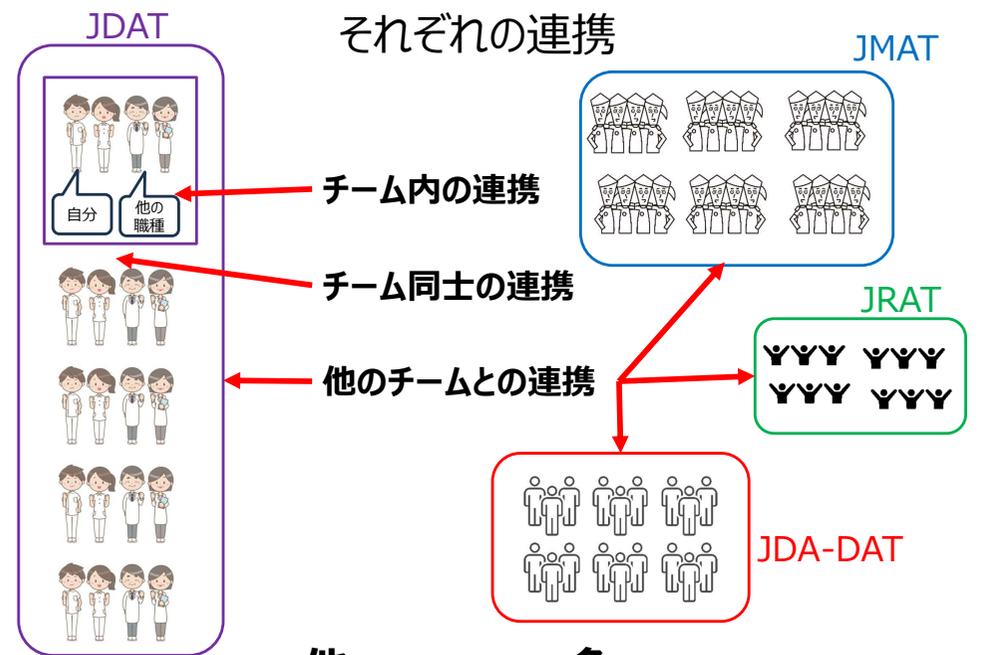
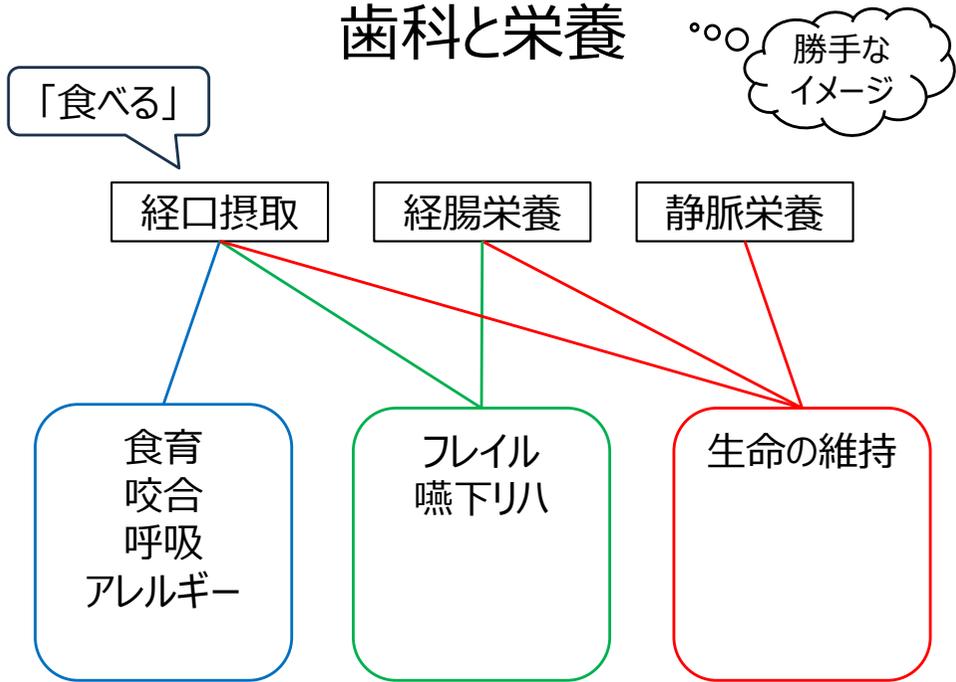
H医科大学, T市立病院

- ・内科
- ・外科
- ・眼科
- ・皮膚科
- ・精神科
- ・小児科
- ・整形外科
- ・耳鼻咽喉科
- ・産婦人科
- ・麻酔科
- ・救命センター
- ・歯科口腔外科



- DHEATとの連携
- 他の保健医療チームとの連携
- 地区歯科医師会との連携
- JDATとJDATの連携

歯科と栄養



- まずは**他**職種から、そして**多**職種へ
- でも、一番難しいのは、同職種との連携だと思います。。

OFF-JT
Off-the-job-training



現場から離れ、セミナーや研修会などを通じて教育を行うこと

OJT
On-the-job-training
実務を通じて教育を行うこと



働き方改革

コンプライアンス

「目で盗め」「背中を見て学べ」という指導法は時代おくれなのか？

OFF-JTは大事だけど、時には、OJTも。

研修会も大事だけど、
日常の地域医療の一症例一症例を通じて、
他の職種と話をすることが重要だと思います。

OJTも、OFF-JTも、両輪で！

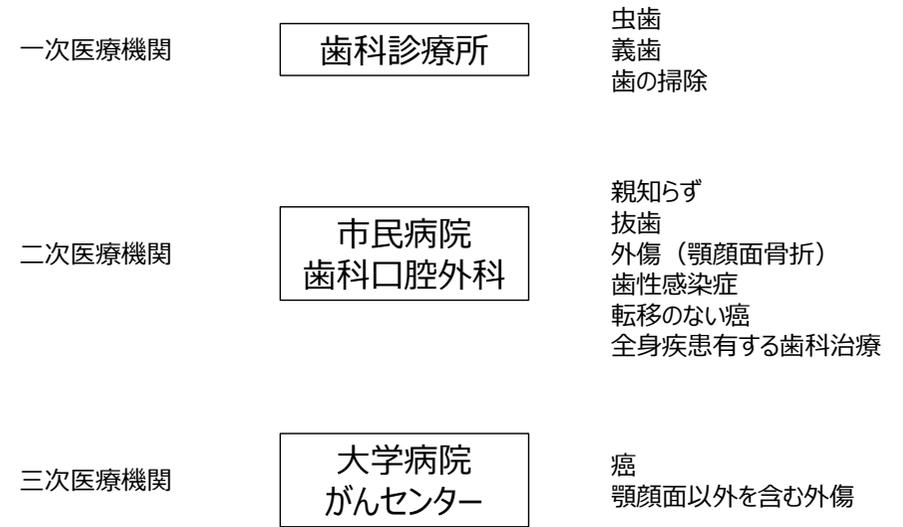


医療連携(医科歯科連携、病診連携)

- **相手(職種・組織)の守備範囲** (出来ること・出来ないこと・得意なこと・苦手なこと) を知っておくこと。
- 平時から、顔の見える連携を構築しておくこと。
- 他職種と「**共通言語**」で。
- 「face to face」から、「mind to mind」の関係構築へ。



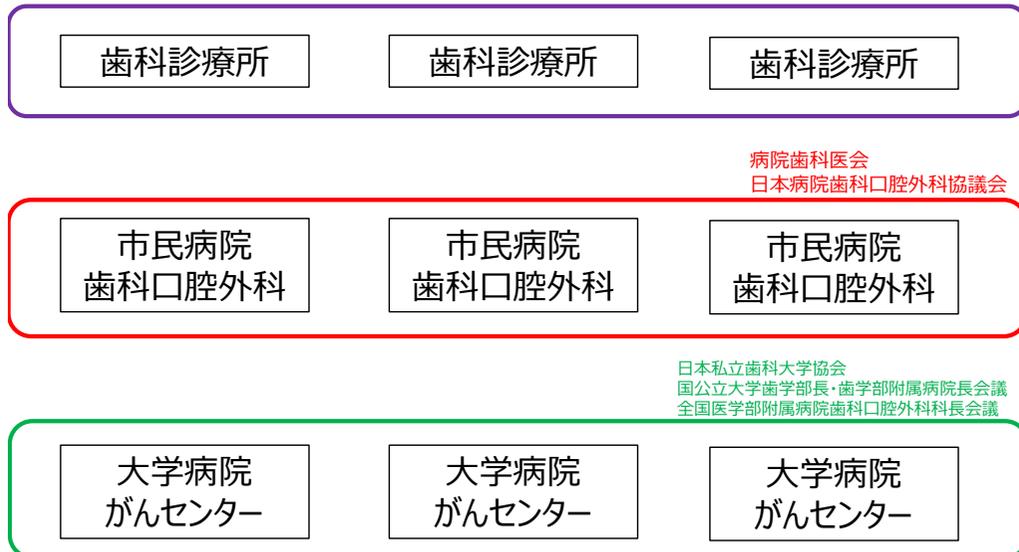
歯科-歯科連携



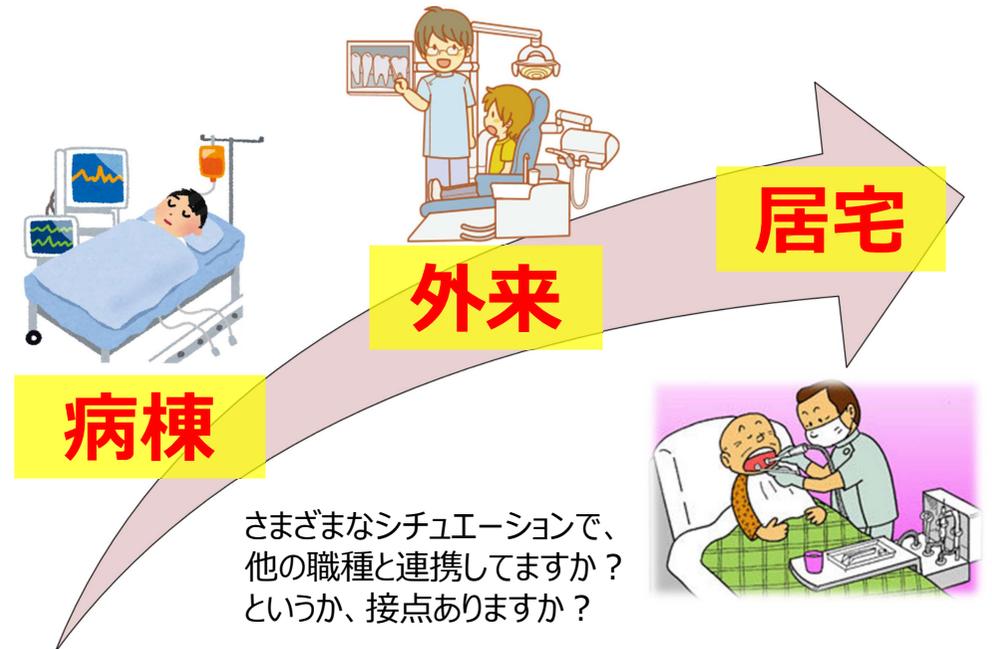
歯科-歯科連携

縦と横の連携

歯科医師会



病棟から外来、そして、居宅へ



通常の業務で、他の医療職と接点ありますか？

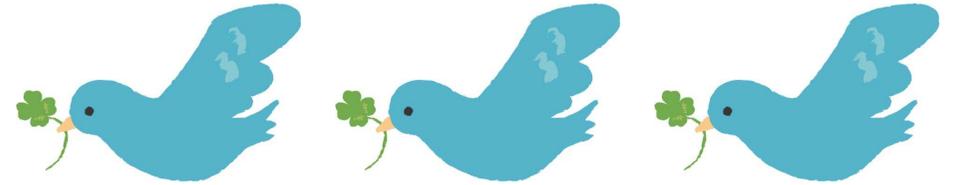


37

災害支援は、通常の地域医療の延長にある・・・

・・・と個人的には考えています。

なにも特別なことはありません。



普段にやってないことは、災害時でも出来ません！

38

日本災害時公衆衛生歯科研究会 <http://jsdphd.umin.jp/>

ホーム お問い合わせ(事務局)

日本災害時公衆衛生歯科研究会
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (DPHD)

ポスター・パンフレット 記録票・資料 研修教材 研修会記録 書籍・報告書 **ML登録**

事務局 Last Update: 2023年2月5日

お問い合わせ

リンク

- ▶ 日本歯科医師会
- ▶ 日本歯科衛生士会
- ▶ 日本歯科技工士会
- ▶ 国立保健医療科学院 歯とサイト
- ▶ 東北大学IRIDeS 災害口腔科学分野
- ▶ 神奈川歯科大学 災害歯科医療論文検索サイト

目的

災害時に歯科口腔保健に必要な危機管理機能を発揮するための具体的な方策や技術等について検討し、必要な場所に、必要な時に、必要な歯科口腔支援を届けるため、具体的・実践的な社会提言を行う。

“個人が集まり、よりよい災害時公衆衛生歯科のための提言を出し、それを広めるための研修ツールの開発や研修指導を行う”ための研究会と位置付け、「歯科保健」に軸足を置いて検討していく。

意義や目的として、下記などがあげられる。

- 1) 災害時の歯科保健の標準化などの提案を出していくシンクタンク
- 2) 災害時の多職種連携での対応のあり方を探り体制を構築していく実行部隊
- 3) 研修の題材やスタイルを作成し、それを試行し完成させていく場
- 4) 必要あれば出張研修の依頼を受ける母体

設立の経緯

災害医療に係わる保健所機能の強化が検討されていることを受け、第31回地域歯科医療研究会（平成25年2月27日 静岡）にて「災害時口腔保健アワード」の標準化

39